

井田山土壌動物調査・オプション コシビロダンゴムシをさがせ！

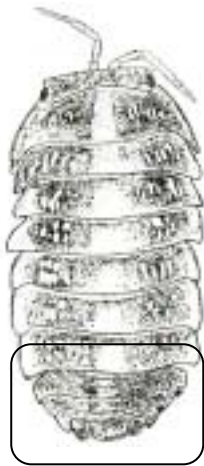
川崎市内には、オカダンゴムシとセグロコシビロダンゴムシという、2種類のダンゴムシが生息しています。そのうちオカダンゴムシの方は、森林から畑地、公園、市街地など様々な環境に生息しますが、セグロコシビロダンゴムシの方は、ある程度規模の大きく、かく乱の少ない（自然性が高い）森林を好みます。つまり、セグロコシビロダンゴムシがいる森林は、良好な自然環境が保たれている緑地であると評価できます。

井田山の森は、どんな森林でしょうか？がんばってコシビロダンゴムシをさがしてみましよう！

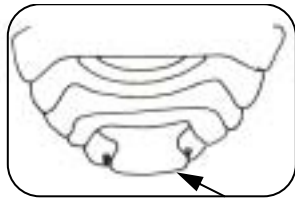
ダンゴムシ 2 種の見分け方

セグロコシビロダンゴムシ

体長：10mm 以下。



尾節はうしろに向かって広がる

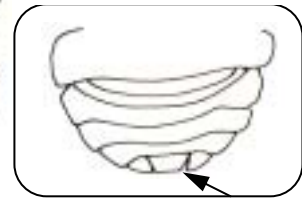


オカダンゴムシ

体長：15mm 以下



尾節はうしろに向かってせばまる



コシビロダンゴムシ類の尾節*

(*注：写真はセグロコシビロダンゴムシとは別の種類です)

オカダンゴムシの尾節

資料中の図は、以下のものを改写しました：

- ・「土壌動物を用いた環境診断」青木淳一（1995）. 自然環境への影響予測 結果と調査法マニュアル（沼田 眞編）. 千葉県環境部 環境調整課 .
- ・「日本産土壌動物 分類のための図解検索」青木淳一編（1999）. 東海大学出版会，東京 .
- ・「森を支える土壌動物」新島溪子・伊藤雅道（1996）. わかりやすい林業解説シリーズ .（財）林業科学技術振興所 .